0092PD03-0

不凍水栓柱	D-SK

施工・取扱説明書

（社）日本水道協会品質認証センター認証登録品

■この度は、不凍水栓柱をお求めいただき、まことにありがとうございます。この施工説明書をよくお読みいただき正しく施工して下さい。
■本製品は、水抜きハンドルを操作することにより、器具内の水を抜いて凍結を防止する機能を持った水栓柱です。
■製品に傷、欠品など不具合がございましたら、製品到着後10日以内にご連絡下さい。
■この施工・取扱説明書は大切に保管して下さい。

安全上のご注意

ここに示した警告および注意は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、内容をよく理解して正しく施工して下さい。

■安全表示について

表　示	表示の意味すること
⚠警告	人が死亡したり、重傷を負う可能性がある内容です。
⚠注意	人が障害を負ったり、物的損害が発生する可能性がある内容です。
🚫	絶対にしないで下さい。（行為の禁止）
❗	必ずして下さい。（行為の強制・指示）

⚠注意

🚫 禁 止

・器具を分解しないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
・落下等による衝撃を与えないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
・火気や熱源を近づけないで下さい。部品の劣化や変形により、作動不良の原因になります。
・ねじ部は素手で触れないで下さい。けがをする恐れがあります。
・保護キャップは配管直前まで外さないで下さい。異物が混入し、作動不良の原因になります。
・水栓金具や外筒をつかんで無理に回さないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
・竣工検査時、器具の2次側から加圧しないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
・耐圧試験後、水抜きハンドルで圧抜きをしないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
・寒冷地仕様以外の水栓は使用しないで下さい。寒冷地仕様以外の水栓は、開栓しても空気が入らず水が抜けないため、凍結・破損し、漏水が発生する恐れがあります。

❗ 強 制

・ステンレス配管を接続する際は、絶縁処理を適切におこなって下さい。電気腐食の恐れがあります。
・本体以外に工具をかけないで下さい。作動不良や漏水の原因になります。
・管軸に対して操作部が垂直に上を向くように施工して下さい。作動不良の原因になります。
・排水部が凍結深度以下になるように設置して下さい。埋設が浅いと凍結・破損し、漏水が発生する恐れがあります。
・排水部周辺は、浸透マス・排水ブロックまたは、砂利・砕石等を用いて、水はけをよくして下さい。水はけが悪いと凍結・破損し、漏水が発生する恐れがあります。
・水抜きハンドルが確実に回せるような空間を確保して下さい。水抜きハンドルが確実に回せないと凍結・破損し、漏水が発生する恐れがあります。
・施工前、配管接続部の清掃をおこない砂・ゴミ等の異物を排出して下さい。異物によって損傷・破損し、漏水が発生する恐れがあります。
・施工後、配管内の洗浄をおこない砂・ゴミ等の異物を排出して下さい。異物によって損傷・破損し、漏水が発生する恐れがあります。
・仕様の範囲内でお使い下さい。範囲外での使用は、器具の破損や性能劣化等が発生する恐れがあります。

TAKEMURA

操作方法

❗ 水抜き操作をする前に、必ずホースを水栓金具からはずす。

■水抜き操作（凍結防止）

①水抜きハンドルを左に90°回転させてハンドルレバーを“❄”に合わせます。
②水栓金具を開けます。（水が抜けます）
③水抜きが終わったら、水栓金具を閉めます。

■通水操作

水抜きハンドルを右に90°回転させてハンドルレバーを“☀”に合わせます。
（通水状態になります）
※水栓金具を操作してお使い下さい。

⚠注意
通水操作直後は水栓金具から水が飛び散ることがあります。

保証期間

製品の保証期間は、お買い上げ後 2年 となります。

製造元

株式會社 竹村製作所
〒381-0017
長野県長野市小島127
TEL 026-251-0200

販売元・お問い合わせ窓口

セキスイエクステリア株式会社
〒162-0824
東京都新宿区揚場町1-21飯田橋升本ビル7F
TEL 03-6685-7070　FAX 03-6685-7075

⚠注意

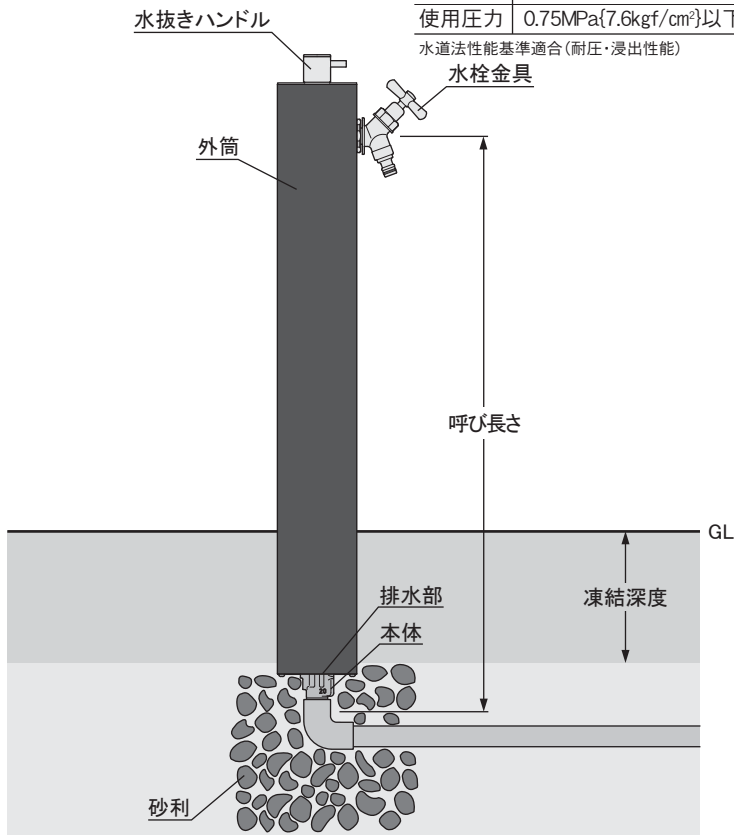
❗強 制

- 冬期間は、確実に水抜き操作をして下さい。器具の凍結は、器具が破損し、漏水が発生する恐れがあります。
- 水抜きハンドルは全閉・全開にしてお使い下さい。
- 水抜き操作をする前に、必ずホースを水栓金具（蛇口等）からはずして下さい。ホースが付いていると、汚水が逆流する恐れがあります。
- 解凍作業をおこなう場合には、温度の上昇に十分注意して下さい。パッキン等が損傷・破損し、漏水が発生する恐れがあります。
- 器具保守のため、月に一度程度の割合で操作し、確実に水が抜けることを確認して下さい。

施工例と各部名称

■仕 様

使用流体	水道水
使用温度	60℃以下
使用圧力	0.75MPa{7.6kgf/cm²}以下

水道法性能基準適合（耐圧・浸出性能）

施工方法

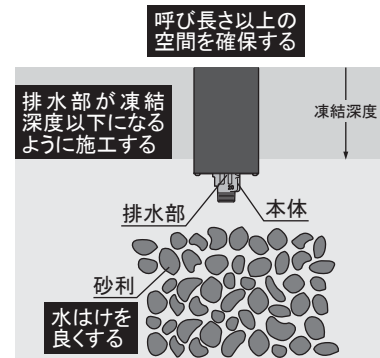
1. 配管前に…

①メンテナンスのために、上部にロット一式（内部構造）が抜き出せるような場所を選んで下さい。

②排水部が必ず凍結深度以下になるように施工して下さい。

③水を抜いた時、排水が確実に浸透するような施工をおこなって下さい。

❗ 排水部をふさがない。

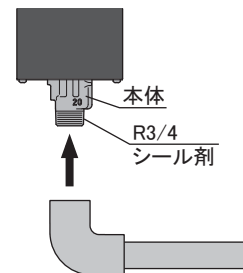
呼び長さ以上の空間を確保する
排水部が凍結深度以下になるように施工する
凍結深度
排水部
本体
砂利
水はけを良くする

2. 配管との接続

本体と配管を接続します。

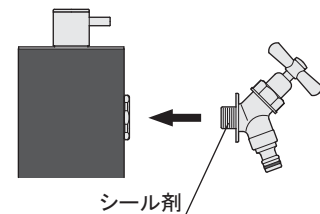
※シール剤が本体内部に入らないように注意して下さい。
　異物の混入により吐水不良等が発生する恐れがあります。

※鋼管継手と本体接続には、管端防食コアは使わないで下さい。

- ❗ 配管接続部を清掃する。
- ⃠ 本体以外は工具をかけない。
- ⃠ 竣工検査時、器具の2次側から加圧しない。

本体
R3/4
シール剤

3. 水栓金具の取り付け

水栓金具にシール剤を用いて取り付けます。

⃠ 設置後、水栓金具の方向変更はしない。

洗管と作動確認

■ 洗管

施工後、水栓金具を全開にし、水を流して配管の洗浄をおこなって下さい。

■ 作動確認

洗管後、水抜きハンドルを操作して水が抜ける（排水する）ことを確認して下さい。

洗管作業